

# 視 察

加藤 誓 (ちかい)



近所の先輩であるが、めでたく1カ月後、退院となった。

「良かったですね。でも、少し歩いた方がいいですよ！」

先輩いわく。「用事もないのに、何で歩かないと、いけないのだ」と。ごもつともである。



コロナ禍で、体力の衰えをカバーするためか、今、スポーツジムや、  
体育教室が大流行である。今は亡き先輩にこのことを話したら、恐らく  
「何で銭まで出して、動かなければならないのだ」と返ってくるだろう。

私も、健康のためだけの目的で、ジョギングや、ウォーキング、  
ましてやスポーツジムは、どうも億劫でやる気がしない。

植田川沿いを、毎日、しかも小雨の中をジョギングしているひとを  
眺めると、「何が楽しいのだろう。良く続くわ。辛抱強いひとだなあ」と、  
何事も三日坊主の私は、ただ、ただ感心するのみである。



愛知県  
地域環境保全委員

そんな私に、昨年10月突然、区役所から「愛知県環境保全委員」の依頼  
があり、何の仕事かも分からずじまいで引き受けた。県から送られてきた  
書類を見たら、「名東区の自然公園と名東区内全般の環境を視察し、  
美化の推進や違反事項を毎月報告せよ。」とのこと。

名東区の自然公園は、県管轄の「牧野が池緑地」と名東土木事務所  
管轄の「いたかの森」「明德公園」の3か所である。

私は名東区に住んで20年余になるが「牧野が池緑地」は3回程？  
散策したことはあったが、それ以外の二つの自然公園は訪れたこと  
もない。「いたかの森」11月「明德公園」2月、初めて歩いてみた。



どちらも、私にとっては高低差の険しいハードな森であった。

私は、スーツ姿に革靴で、小型カメラを提げ ブラリ、ぶらり。  
ご高齢とおぼしき、トレッキングスタイルの ご夫婦から、  
先生に引率された幼稚園児たち、小学生仲間、ボーイスカウトや  
バードウォッチングの団体、毎日だと思われる犬との散歩人など  
「マメに歩く人」が多いのに感心するやら、驚くやら。



如何に私は不精なのかを思い知った。

取り敢えず、証拠写真をと、撮影を始めた。

木漏れ日が射す木々の向こうにはキラキラ光る池、下草を刈り、良く  
整備された竹の林、展望台からは「御岳」振り向けば「我が名東区  
の街並み」、道脇に咲く名も知らぬ小さな花。鴨やへラブナ釣りのひと。



忘れていた「自然の情景」に、ふと、気付かされた「視察」であった。

また「歩かない糖尿病患者の私」に、神か仏が与えてくれた「視察」でもあった。